

**坂出市**  
**障がい者福祉計画および障がい福祉計画**  
**事業所アンケート調査**  
**結果報告書**

**令和2年8月**  
**坂出市**



## 目次

I 調査概要	1
1.調査目的	1
2.調査設計	1
3.報告書の見方	1
II 調査結果	2
1.サービスの提供状況と今後の意向	2
2.受け入れ（事業提供）の状況	4
3.利用者が望むサービスについて	9
4.人材の確保について	15
5.地域住民との交流	16
6.災害発生時の対応について	17
7.共生型サービスの指定について	19
8.高齢者への支援について	20
9.サービスの現状や課題	21
10.障がい福祉施策における重点課題について	23
11.その他・自由意見	23

# I 調査概要

## 1.調査目的

本調査は、「坂出市障がい者福祉計画および第6期障がい福祉計画」の策定にあたり、各法人の今後の障がい福祉サービス・地域生活支援事業に関する意向をお伺いし、参考とさせていただくために実施するものです。

## 2.調査設計

- (1) 実施期間：令和2年7月3日～7月20日
- (2) 調査方法：郵送による配布・回収
- (3) 配布・回収状況

配布数	有効回収数	有効回答率
20 事業所	16 事業所	80.0%

## 3.報告書の見方

- (1) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回る場合があります。
- (2) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

## Ⅱ 調査結果

### 1. サービスの提供状況と今後の意向

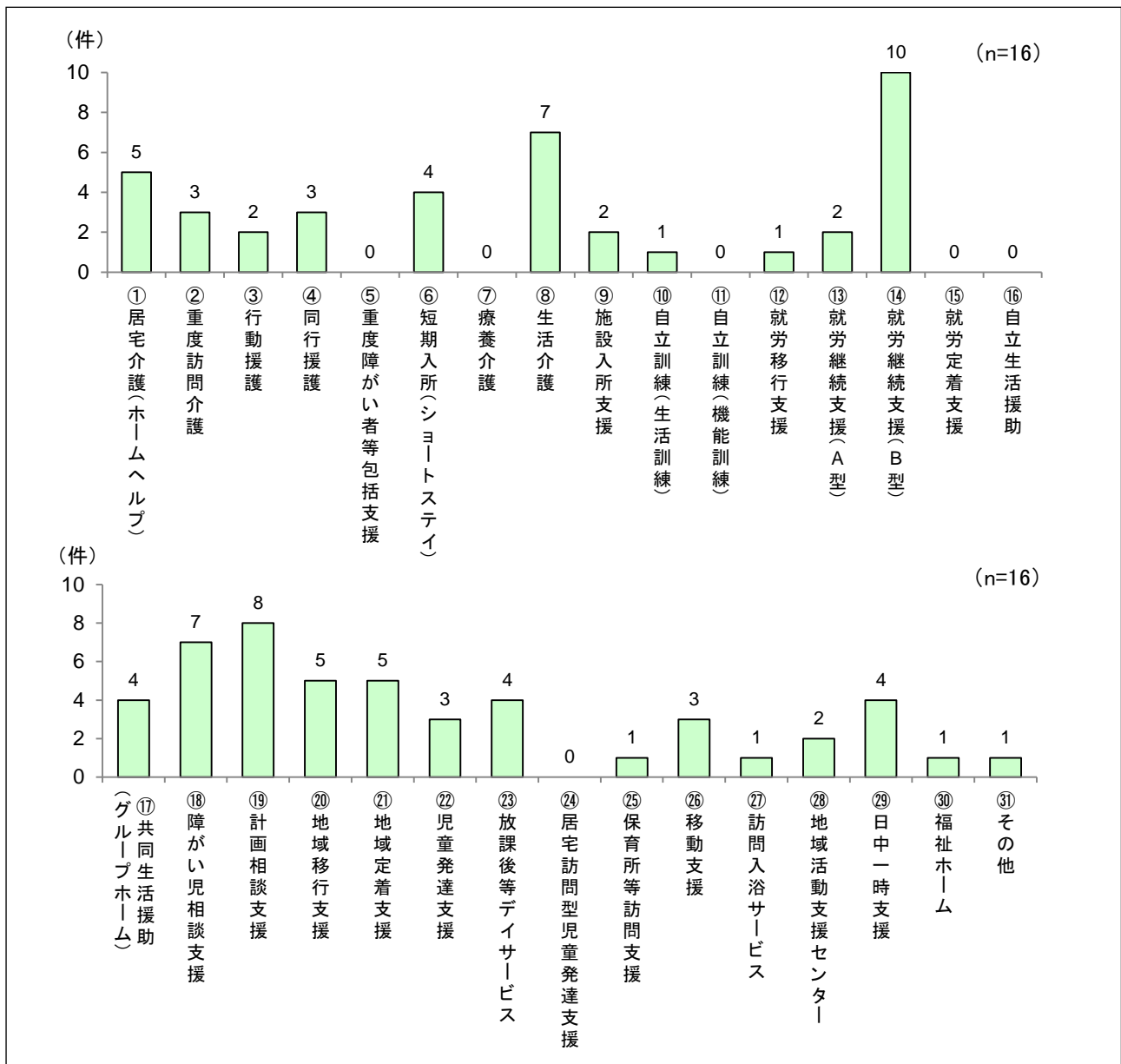
問1 次のサービスについて、貴法人による坂出市内での①提供状況、②今後の意向について、①②のそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

#### ①現在の提供状況（令和2年6月現在）

##### 【全体の傾向】

提供しているサービスは、「⑭就労継続支援（B型）」（10件）が最も多く、次いで「⑲計画相談支援」（8件）、「⑧生活介護」、「⑱障がい児相談支援」（7件）と続いています。

図表 1 ①提供しているサービス（全体／複数回答）

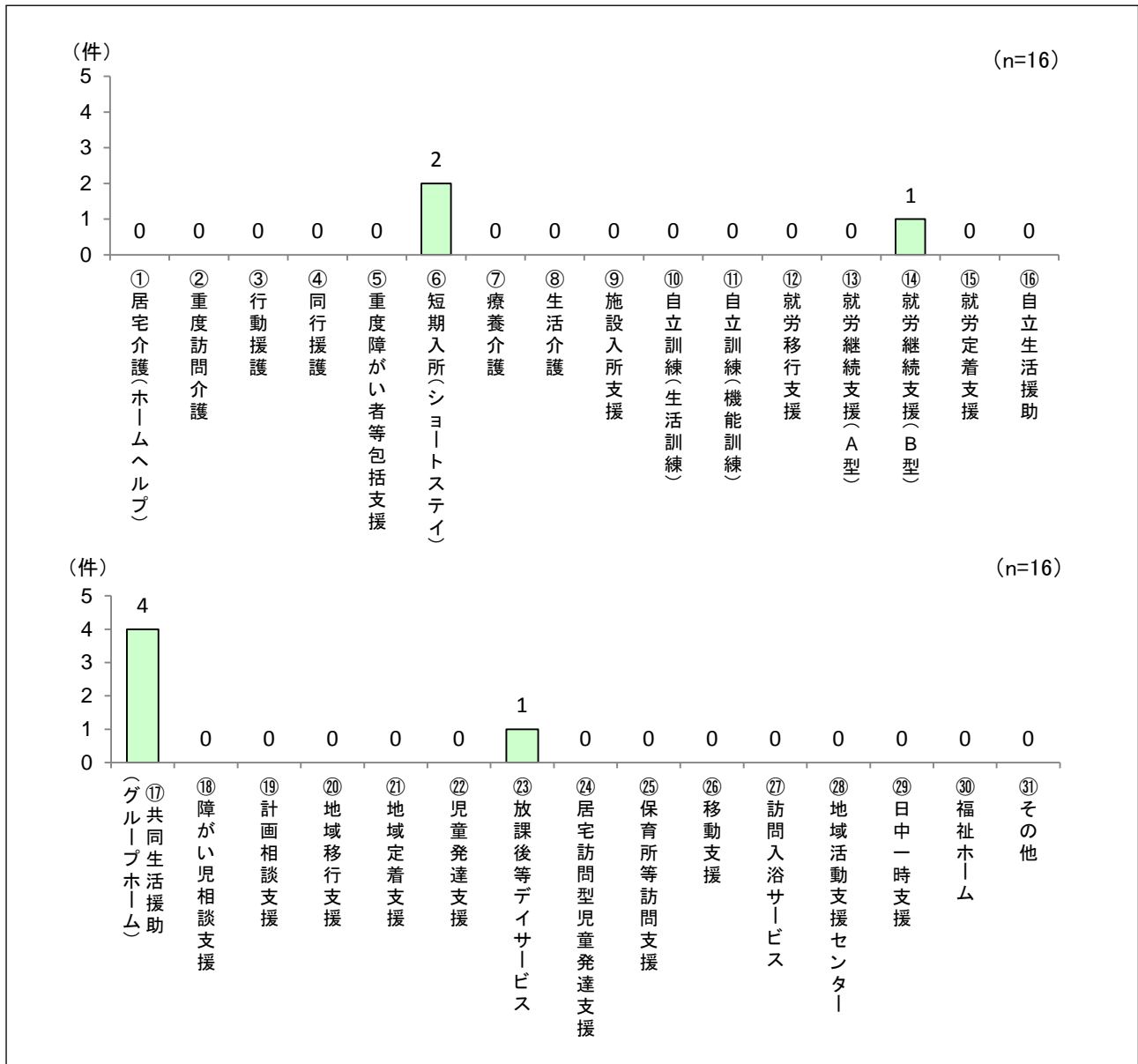


## ②今後の意向について

### 【全体の傾向】

今後、拡大または新たに実施したいサービスは、「⑰共同生活援助（グループホーム）」（4件）が最も多く、次いで「⑥短期入所（ショートステイ）」（2件）、「⑭就労継続支援（B型）」、「⑳放課後等デイサービス」（ともに1件）なっています。

図表 2 ②拡大または新たに実施したいサービス（全体／複数回答）



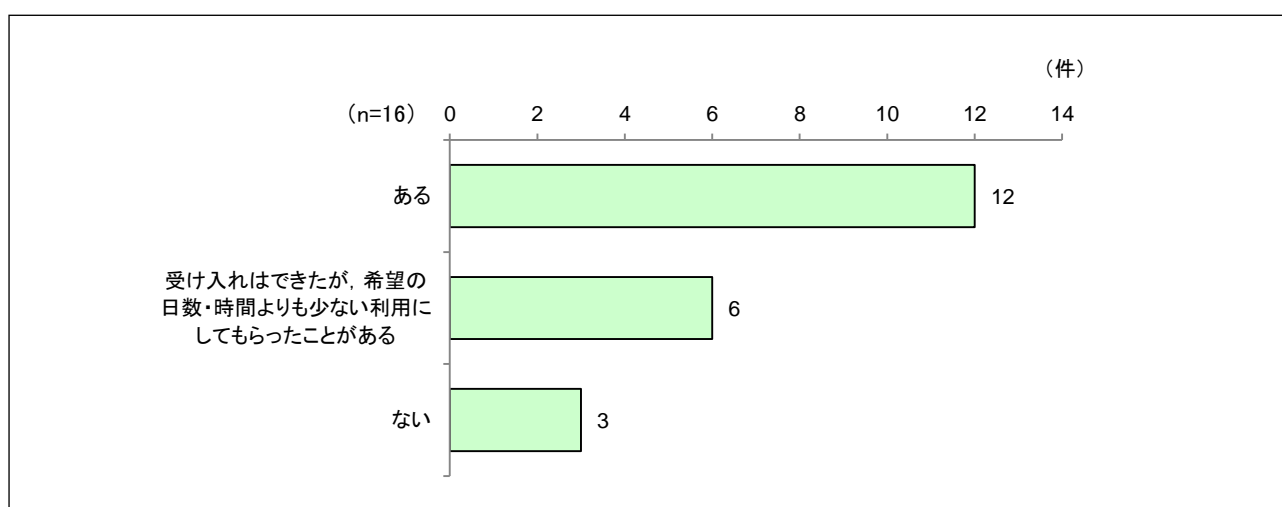
## 2.受け入れ（事業提供）の状況

問2 貴法人では、この1年間で、利用者からの依頼に対して、受け入れ（事業提供）できなかったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

### 【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）できなかった経験の有無については、「ある」が12件、「ない」は3件となっています。また、「受け入れはできたが、希望の日数・時間よりも少ない利用にもらったことがある」は6件となっています。

図表 3 受け入れができなかったことがあるか（全体／複数回答）



※問2で「ある」と回答した方

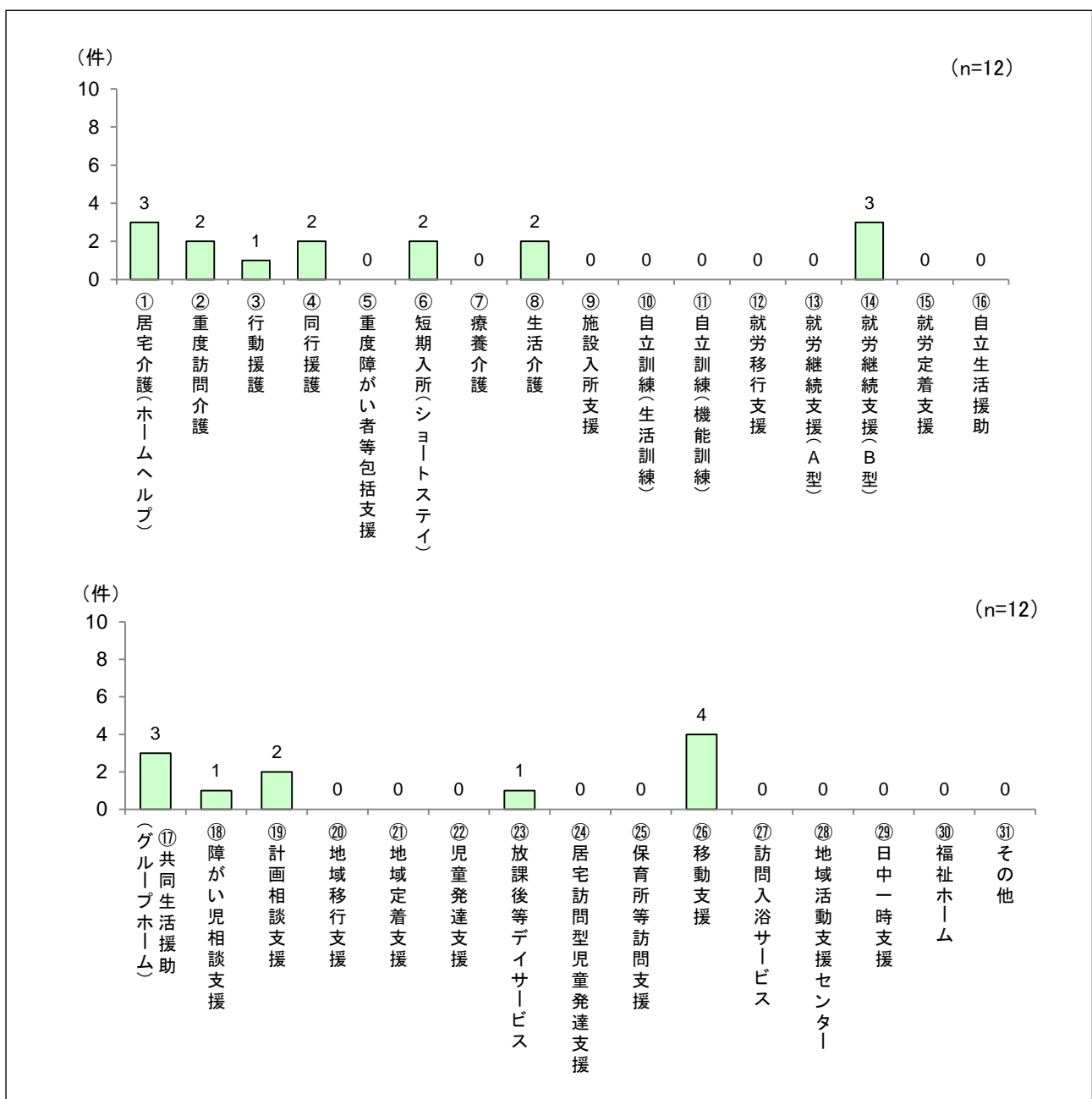
問3 受け入れ（事業提供）できなかった事業は何ですか。また、その理由を選択肢から選び、回答欄にご記入ください。

＜受け入れ（事業提供）できなかった事業＞

【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）できなかった事業は、「⑯移動支援」（4件）が最も多く、次いで「①居宅介護ホームヘルプ」、「⑭就労継続支援（B型）」、「共同生活援助（グループホーム）」（それぞれ3件）などとなっています。

図表 4 受け入れ（事業提供）できなかった事業（全体／複数回答）



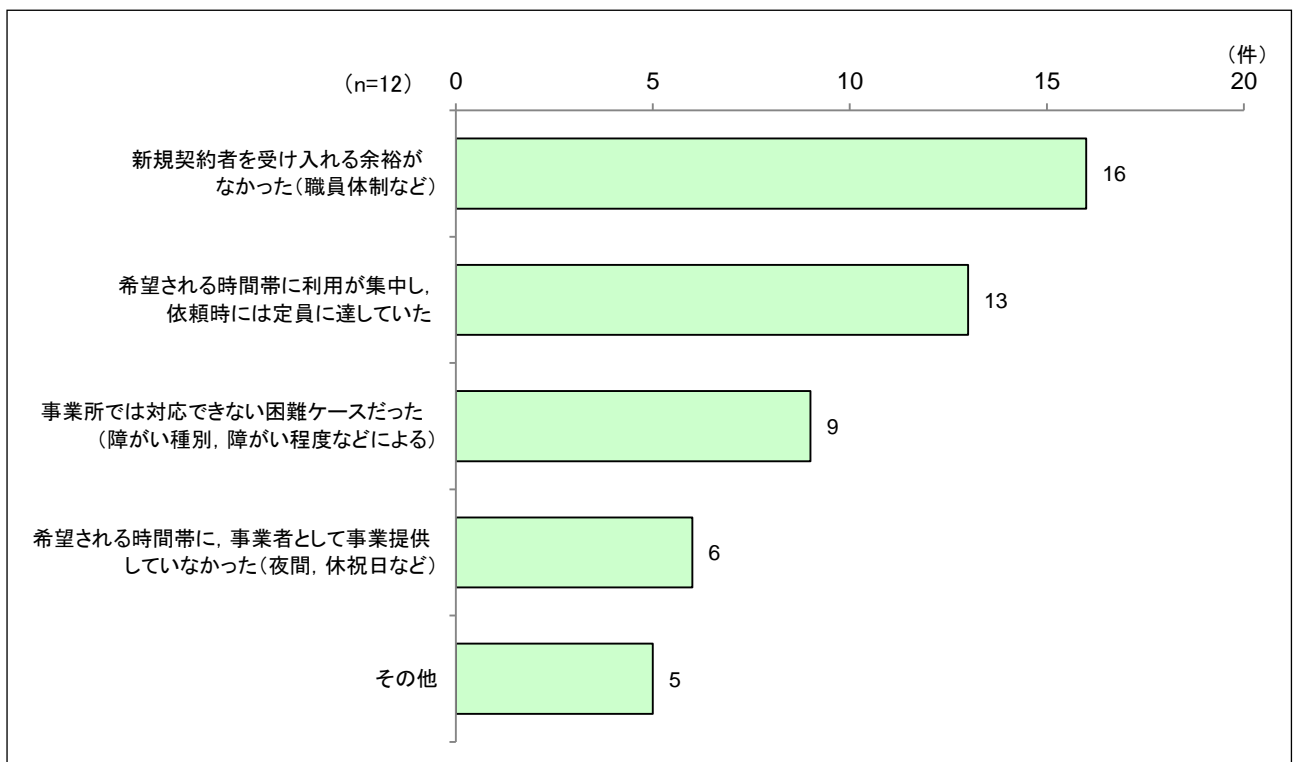


## <受け入れ（事業提供）できなかった理由>

### 【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）ができなかった理由として、「新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）」（16件）が最も多く、次いで「希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた」（13件）、「事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）」（9件）、「希望される時間帯に、事業者として事業提供していなかった（夜間、休祝日など）」（6件）と続いています。

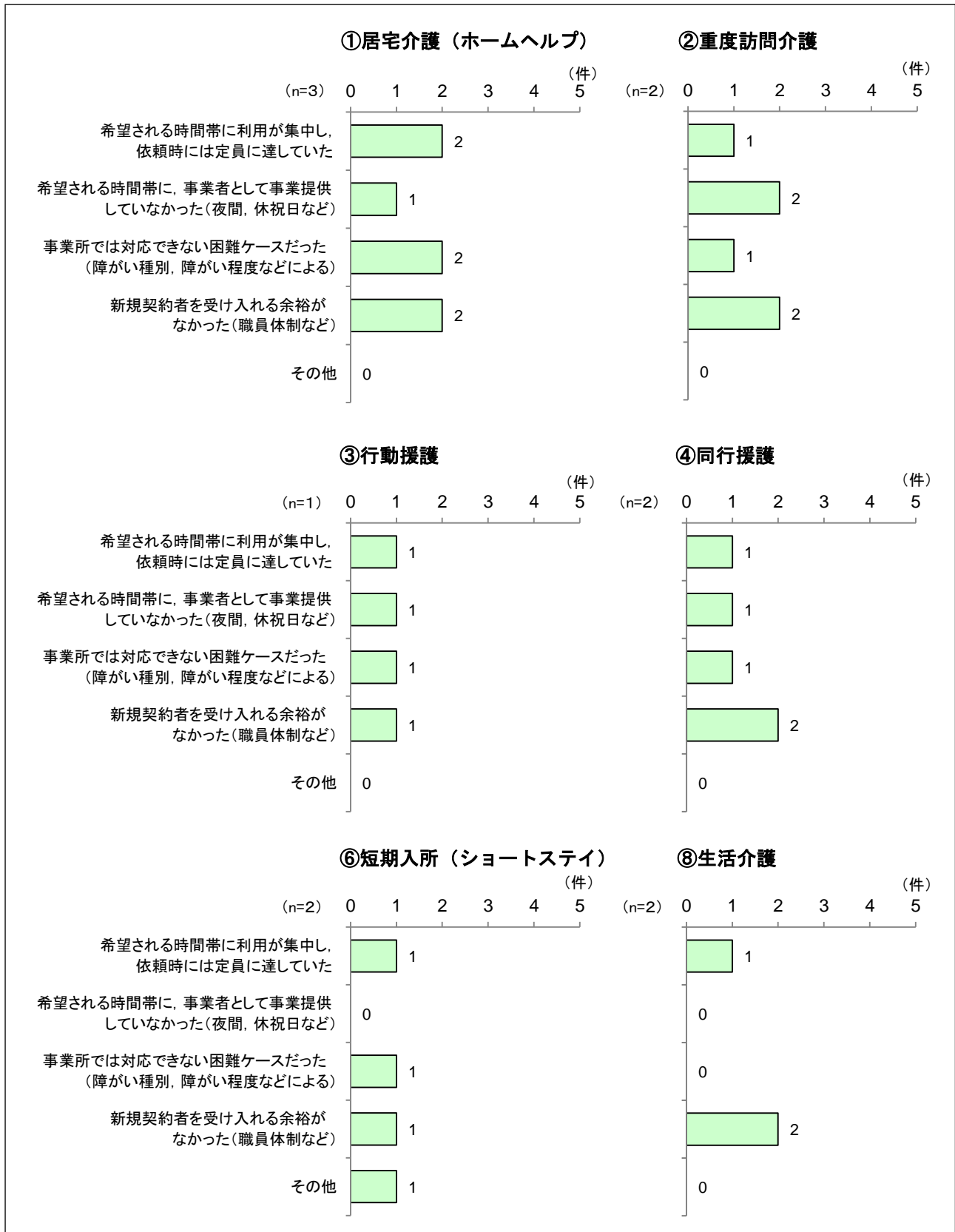
図表 5 受け入れ（事業提供）できなかった理由（全体／複数回答）



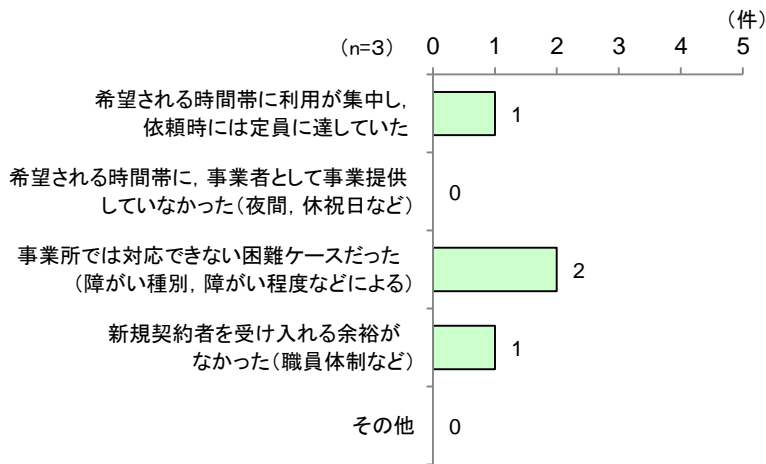
**【サービス別】※回答のあったサービスのみ掲載**

理由をサービス別にみると、最も件数が多い、②6移動支援では、「①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた」という理由が多くなっています。

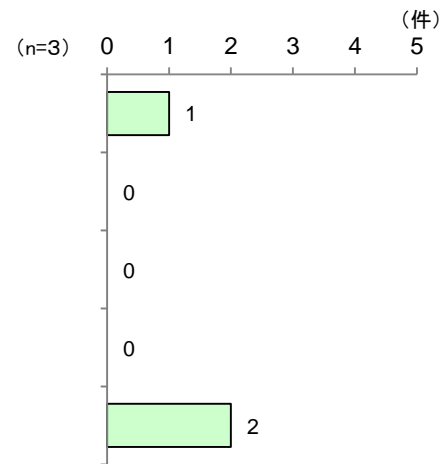
**図表 6 受け入れ（事業提供）が出来なかった理由（サービス別／複数回答）**



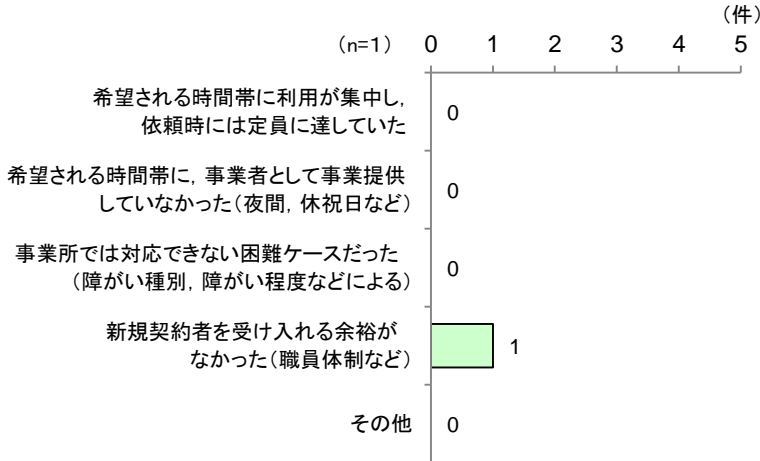
⑭就労継続支援（B型）



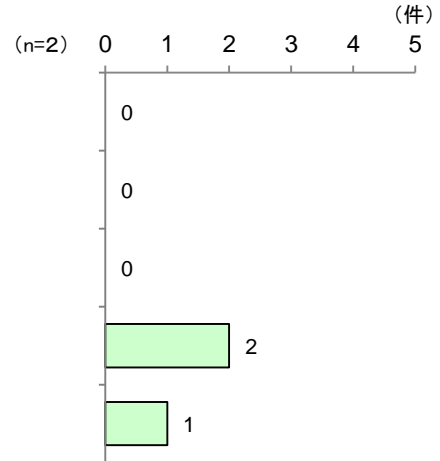
⑰共同生活援助（グループホーム）



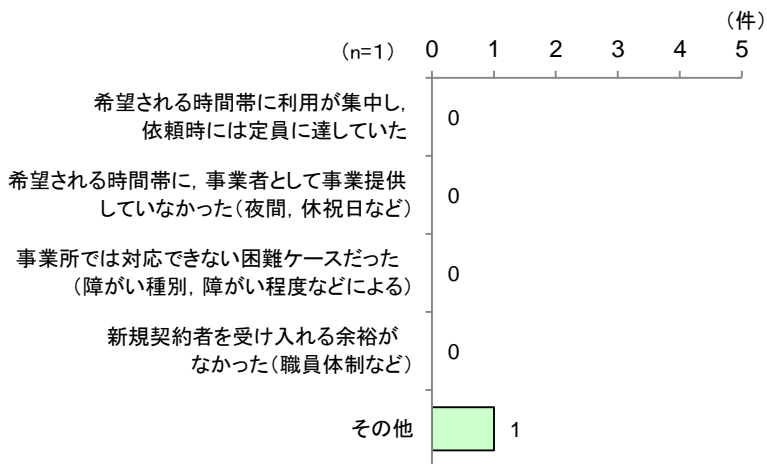
⑩障がい児相談支援



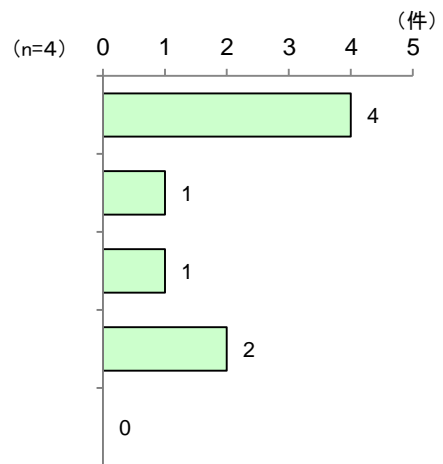
⑲計画相談支援



㉓放課後等デイサービス



㉔移動支援



### 3.利用者が望むサービスについて

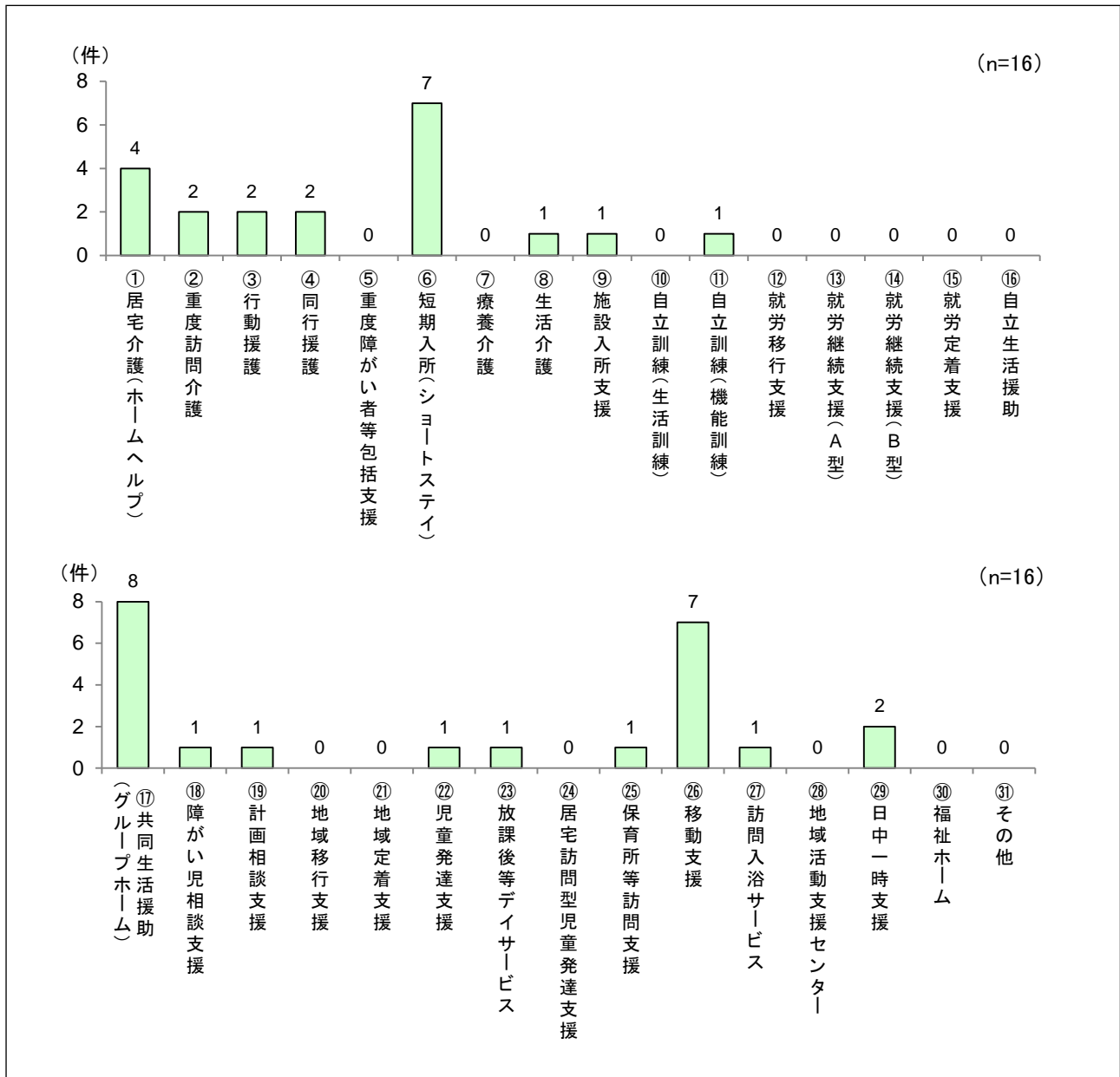
問4 次のサービスについて、①利用者からはどのようなサービスを望む声が多いですか。また、②利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

#### ①利用者から望む声が多いサービス

##### 【全体の傾向】

利用者から望む声が多いサービスは、「⑰共同生活援助（グループホーム）」（8件）が最も多く、次いで「⑥短期入所（ショートステイ）」、「⑳移動支援」（7件）、「①居宅介護（ホームヘルプ）」（4件）と続いています。

図表 7 ①利用者から望む声が多いサービス（全体／複数回答）

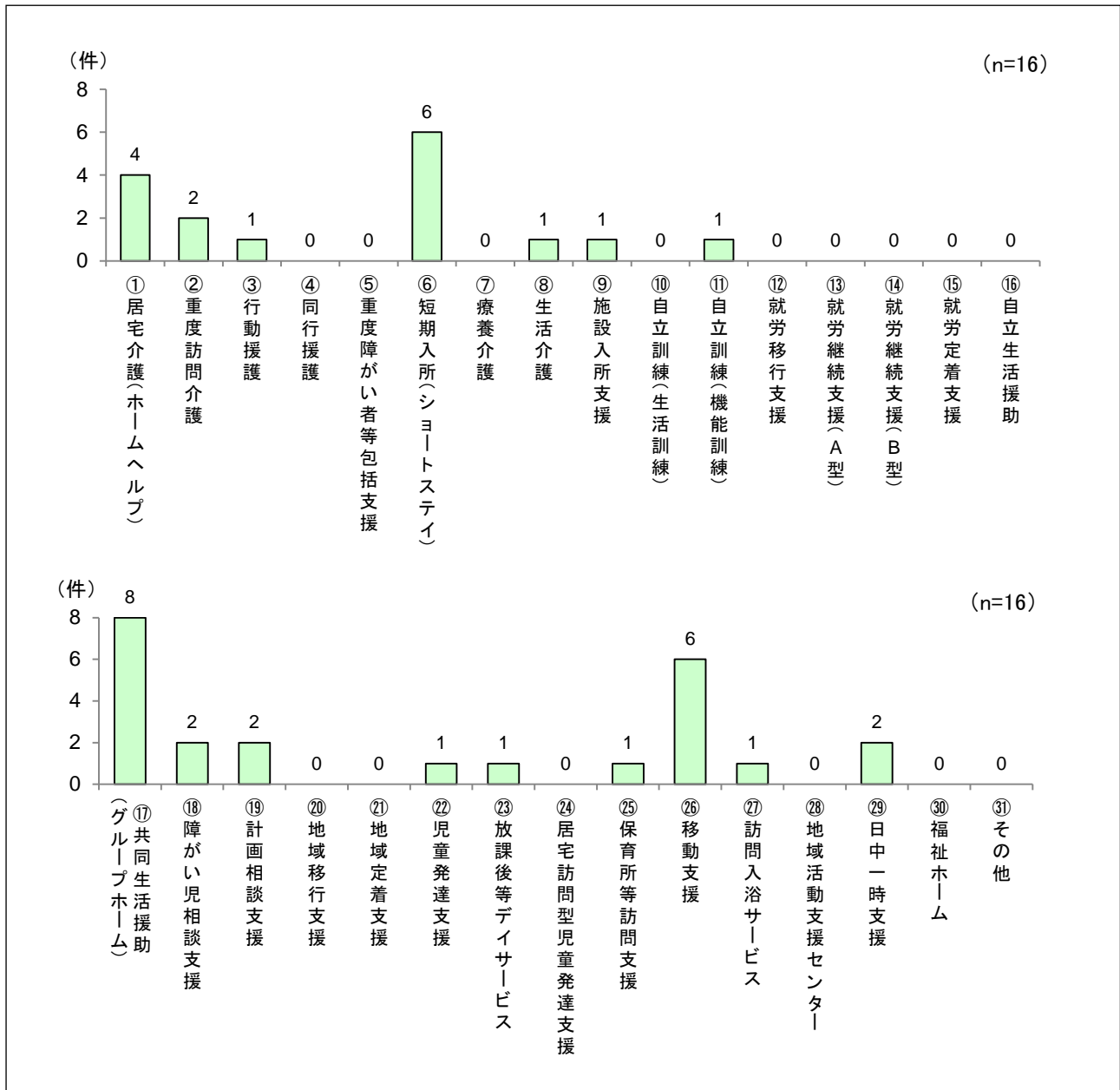


## ②望む声は多いが不足していると感じられるサービス

### 【全体の傾向】

利用者から望む声が多いが不足していると感じられるサービスは、「⑰共同生活援助（グループホーム）」（8件）が最も多く、次いで「⑥短期入所（ショートステイ）」、「⑳移動支援」（6件）、「①居宅介護（ホームヘルプ）」（4件）と続いています。

図表 8 ②望む声は多いが不足していると感じられるサービス（全体／複数回答）



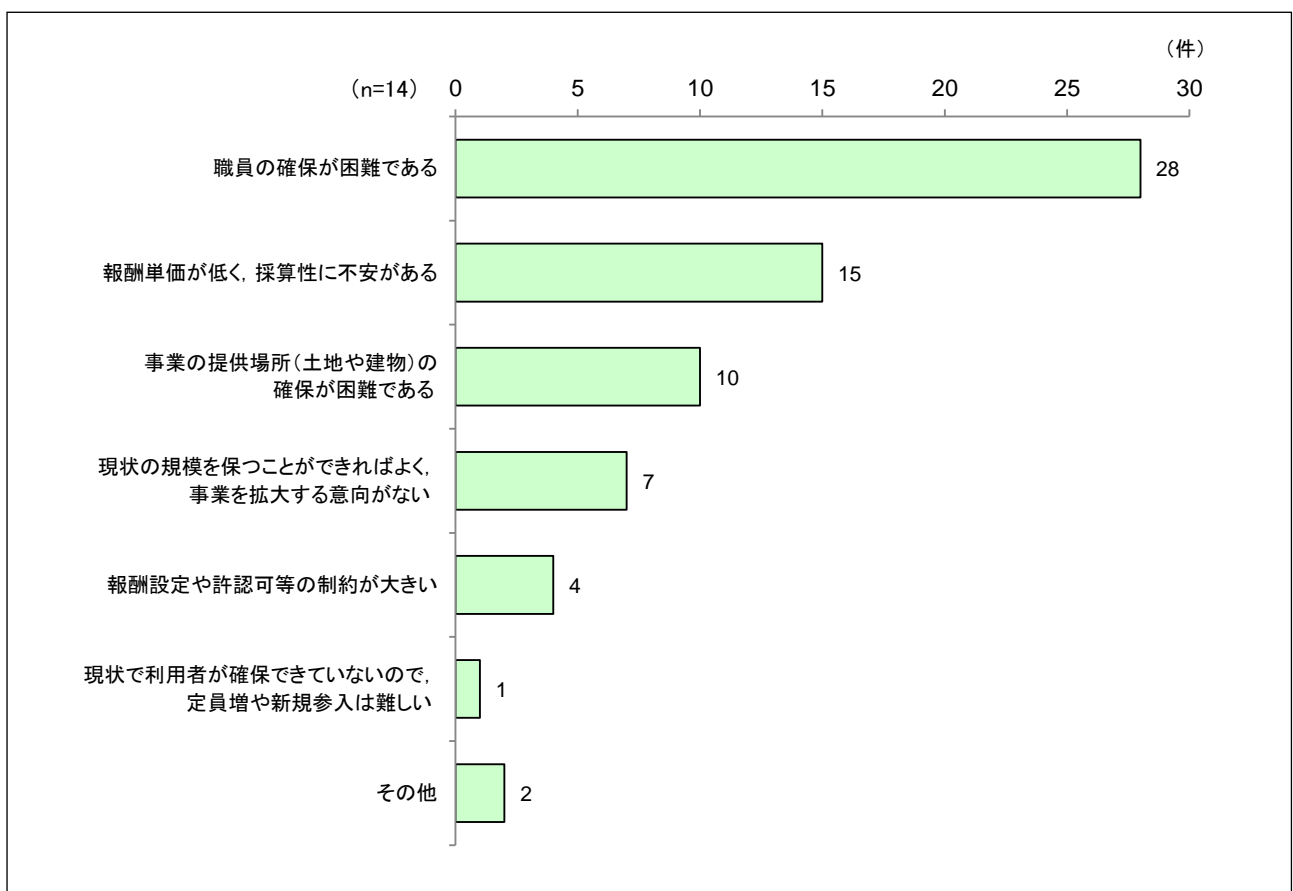
※問4で②に1つでも回答した項目がある方

問5 「利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービス」について、定員増員や新規参入が進まない理由は何だと思われますか。

### 【全体の傾向】

「利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービス」の定員増員や新規参入が進まない理由として、「職員の確保が困難である」(28件)が最も多く、次いで「報酬単価が低く、採算性に不安がある」(15件)、「事業の提供場所(土地や建物)の確保が困難である」(10件)と続いています。

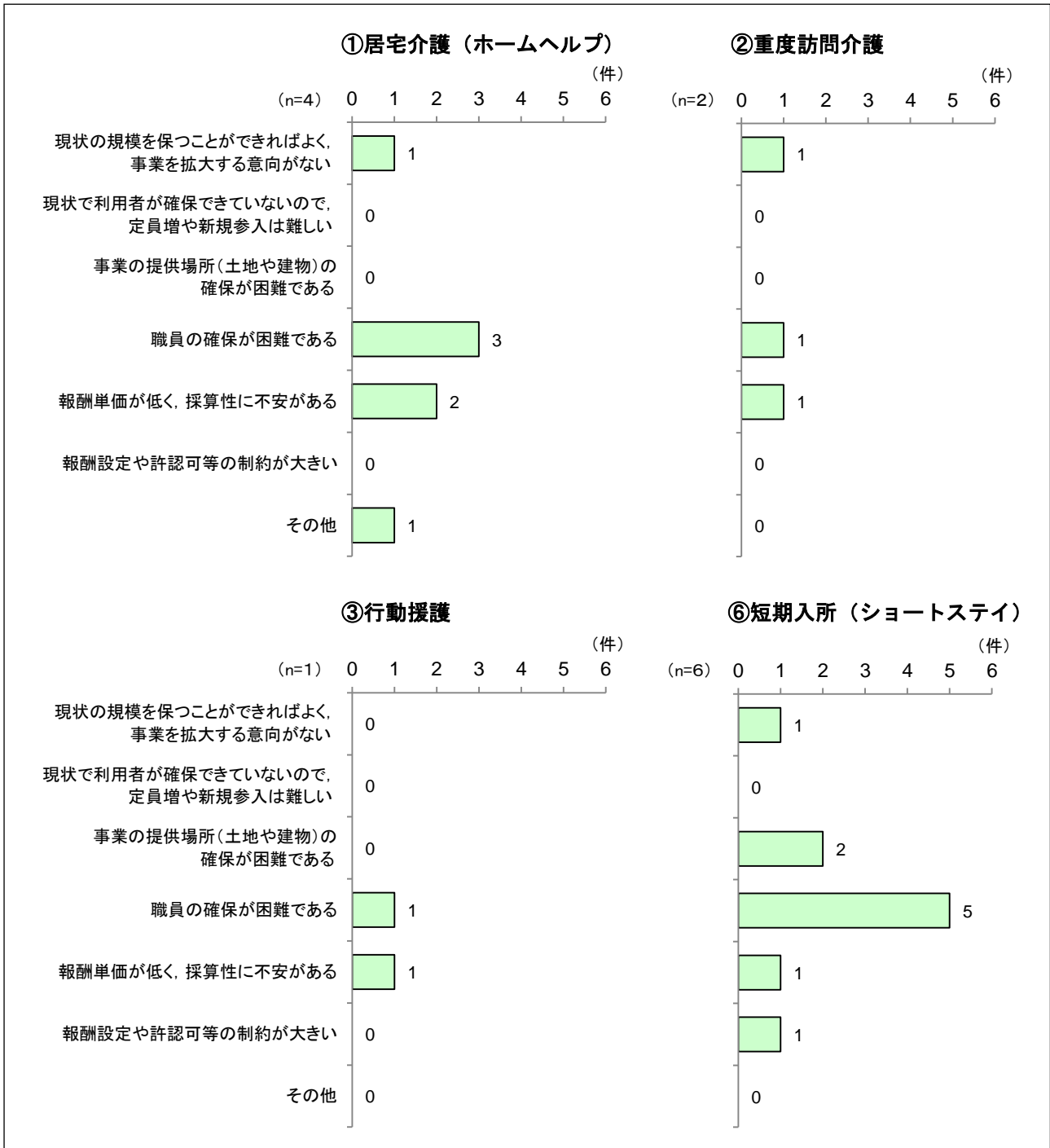
図表 9 定員増員や新規参入が進まない理由 (全体/複数回答)



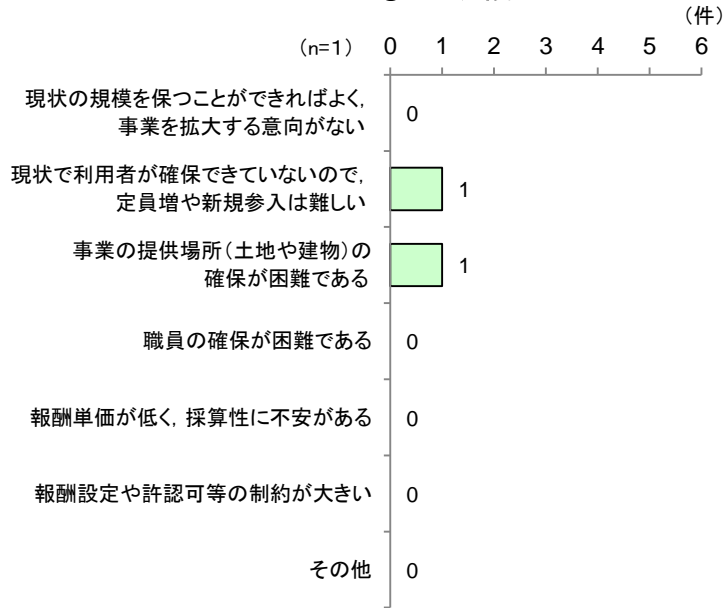
**【サービス別の傾向】※回答のあったサービスのみの掲載**

理由をサービス別にみると、⑥短期入所（ショートステイ）、⑰共同生活援助（グループホーム）、⑳移動支援で「職員の確保が困難である」との意見が多くなっています。特に㉔移動支援では選択した事業所すべてが「職員の確保が困難である」と回答しています。

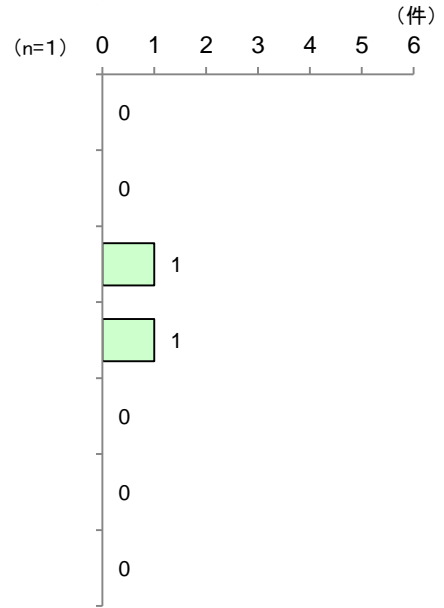
**図表 10 定員増員や新規参入が進まない理由（サービス別／複数回答）**



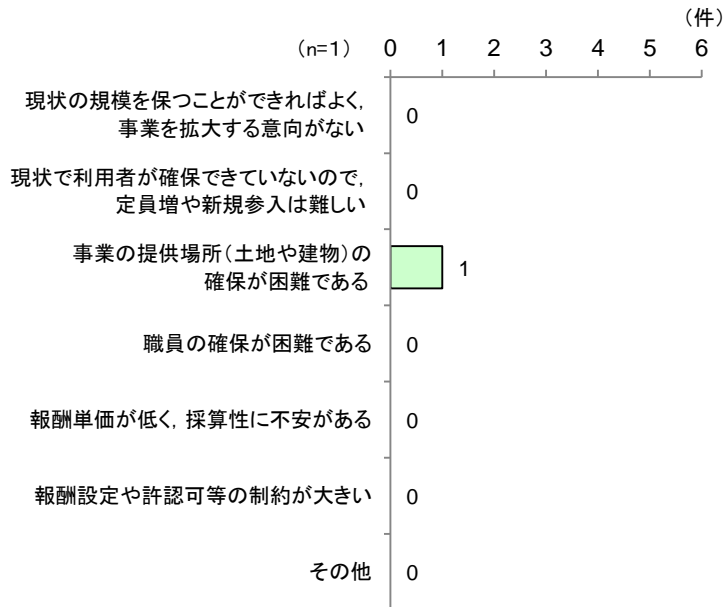
⑧生活介護



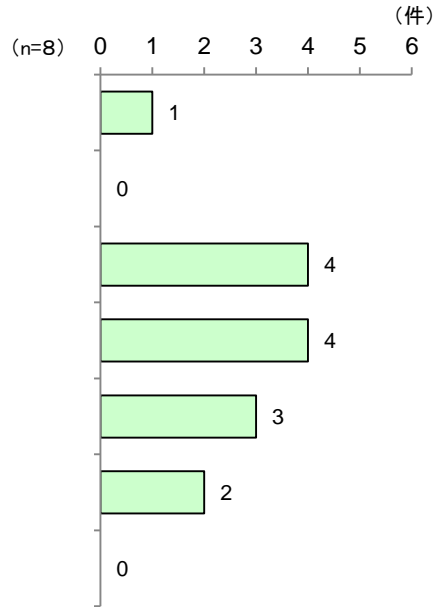
⑨施設入所支援



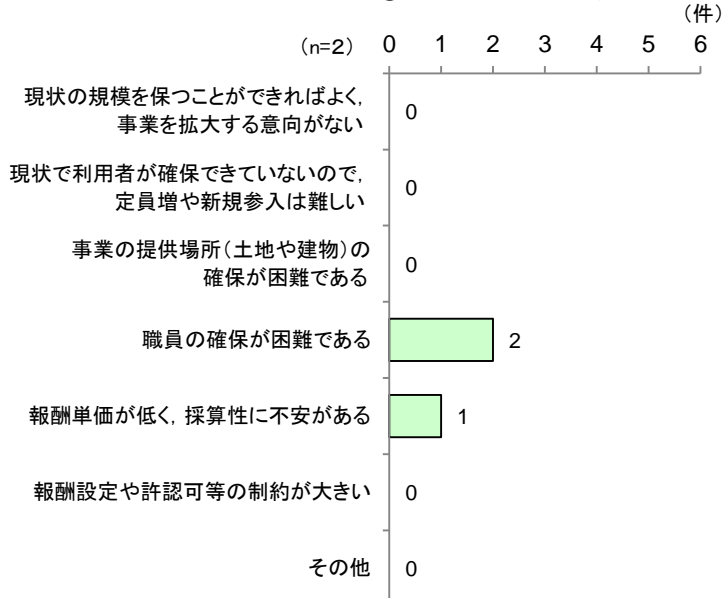
⑪自立訓練(機能訓練)



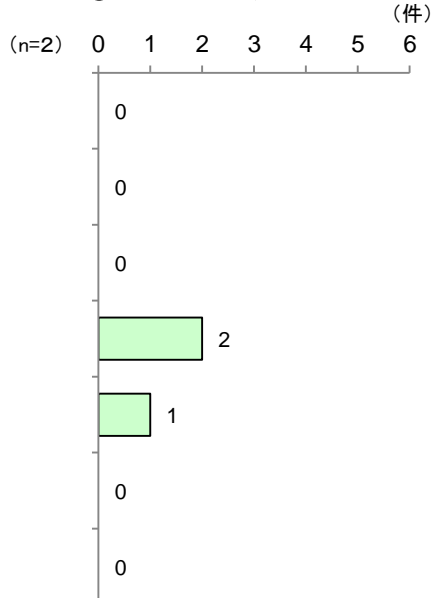
⑰共同生活援助(グループホーム)



⑩障がい児相談支援

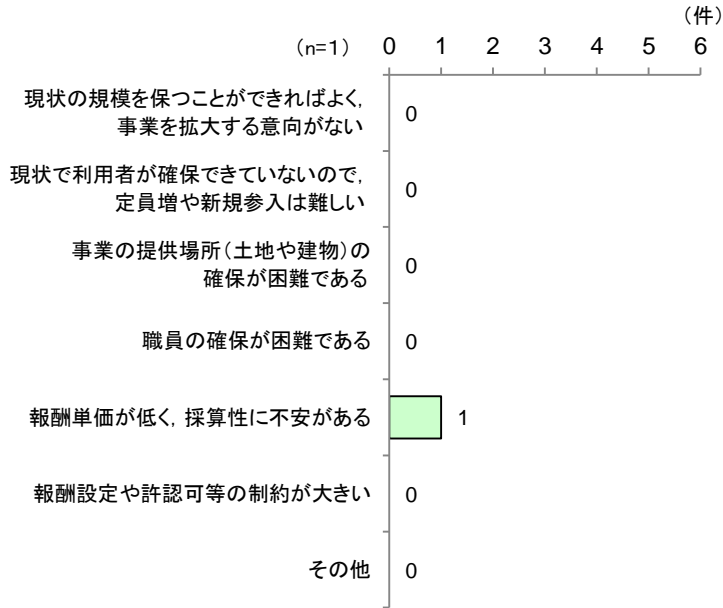


⑱計画相談支援

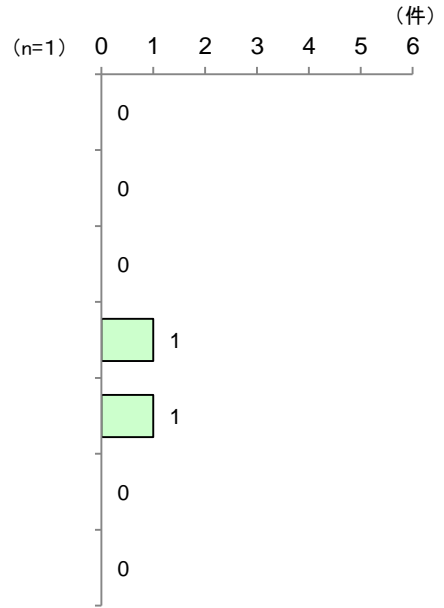




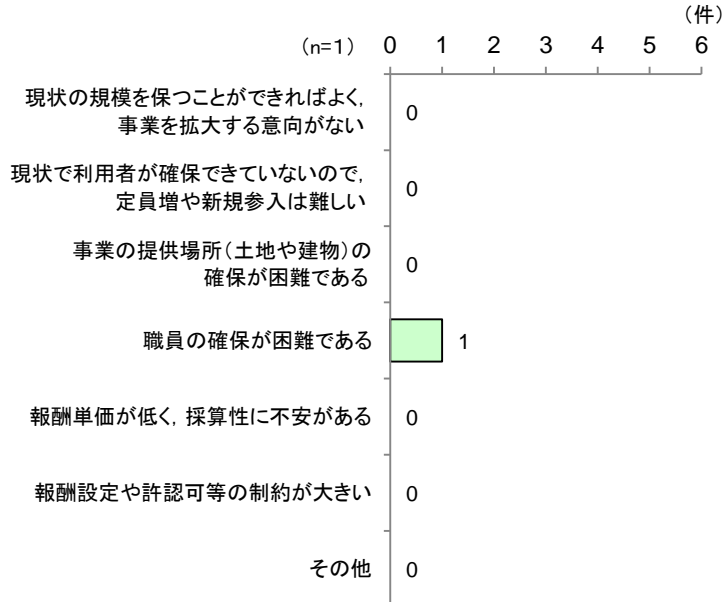
㉒ 児童発達支援



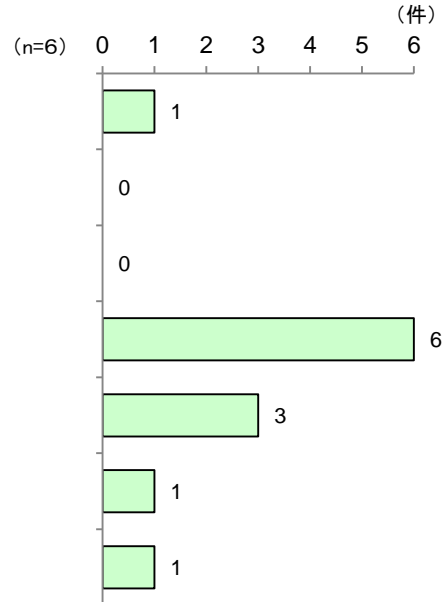
㉓ 放課後等デイサービス



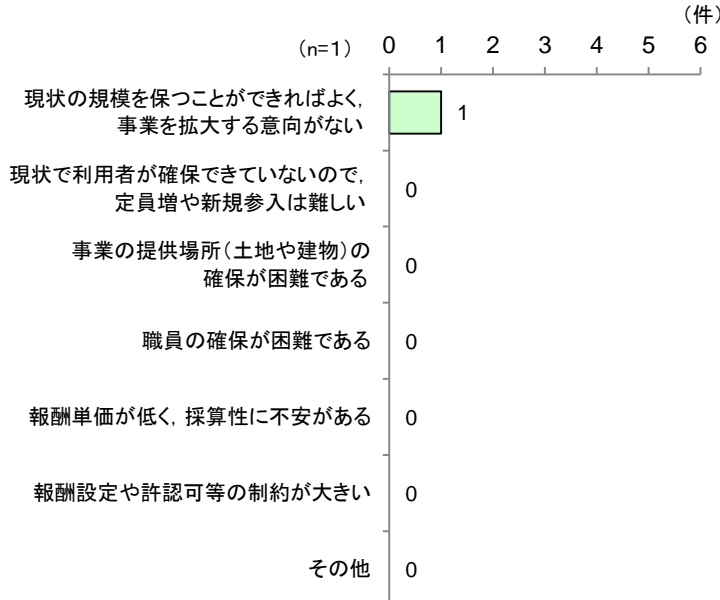
㉔ 保育所等訪問支援



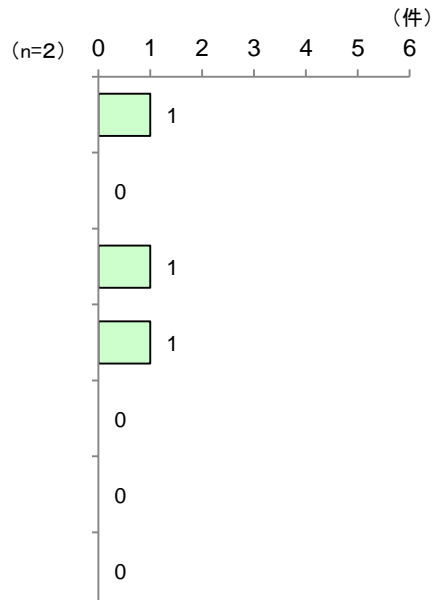
㉕ 移動支援



㉖ 訪問入浴サービス



㉗ 日中一時支援



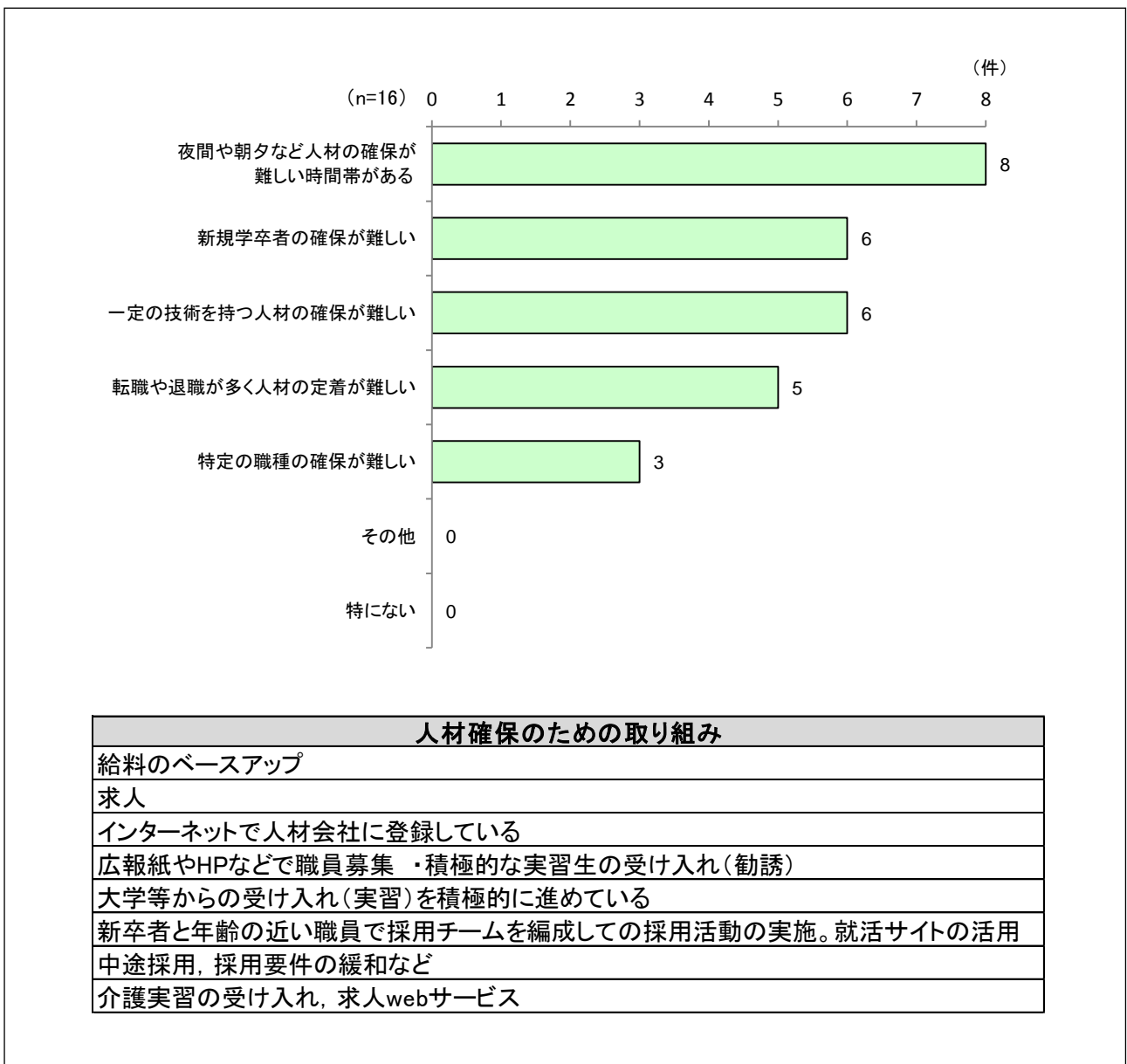
## 4.人材の確保について

問6 人材確保にどのような課題がありますか。(〇は2つまで)

### 【全体の傾向】

人材確保の課題としては、「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」(8件)が最も多く、次いで「新規学卒者の確保が難しい」、「一定の技術を持つ人材の確保が難しい」(6件)、「転職や退職が多く人材の定着が難しい」(5件)、「特定の職種の確保が難しい」(3件)と続いています。

図表 11 人材確保の課題と取り組み (全体/複数回答)



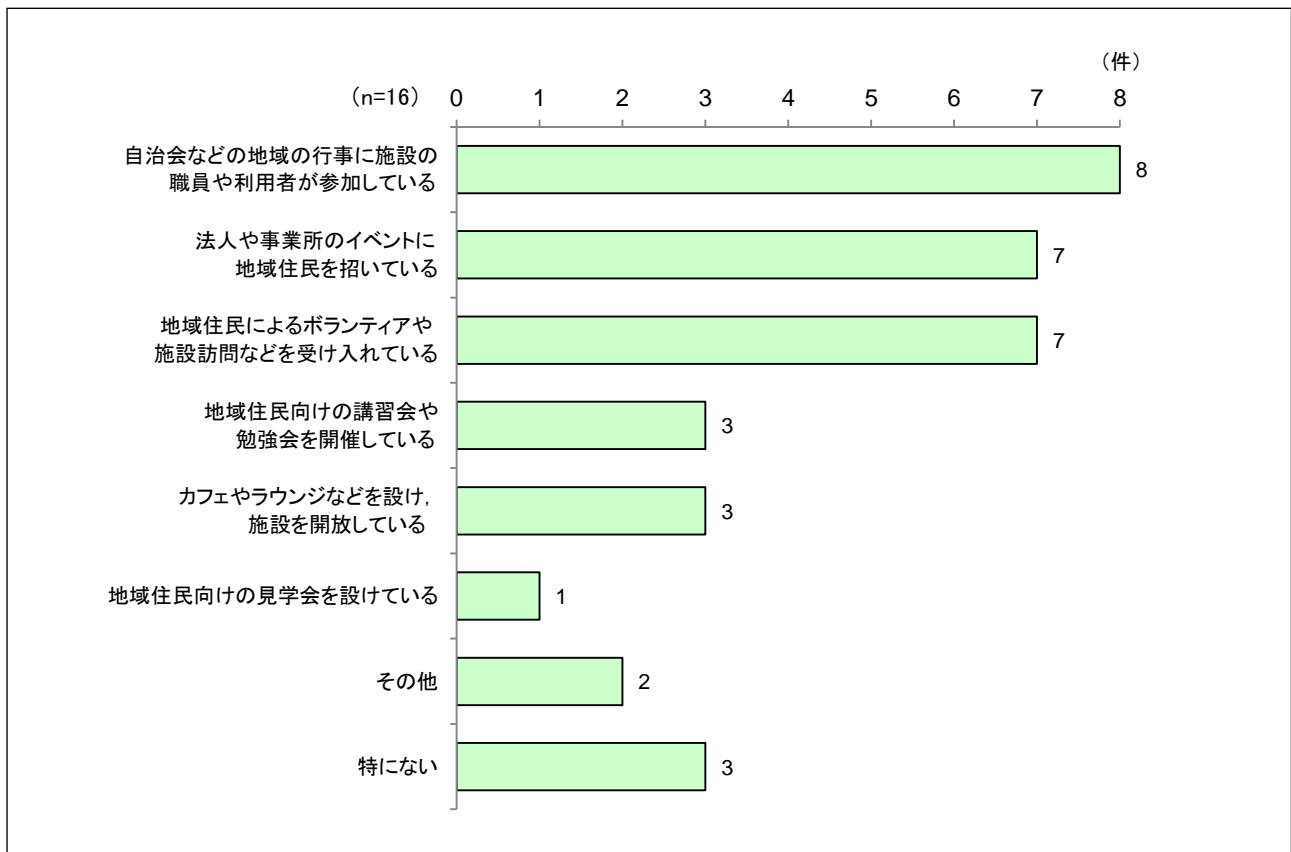
## 5.地域住民との交流

問7 貴法人の職員や利用者が、地域の住民と交流する機会がありますか。(あてはまるものすべてに)

### 【全体の傾向】

地域住民との交流機会の有無については、交流の機会がある中では、「自治会などの地域の行事に施設の職員や利用者が参加している」(8件)が最も多く、次いで「法人や事業所のイベントに地域住民を招いている」、「地域住民によるボランティアや施設訪問などを受け入れている」(7件)、「地域住民向けの講習会や勉強会を開催している」、「カフェやラウンジなどを設け、施設を開放している」(3件)、「地域住民向けの見学会を設けている」(1件)と続いています。

図表 12 地域住民との交流の機会について (全体/複数回答)



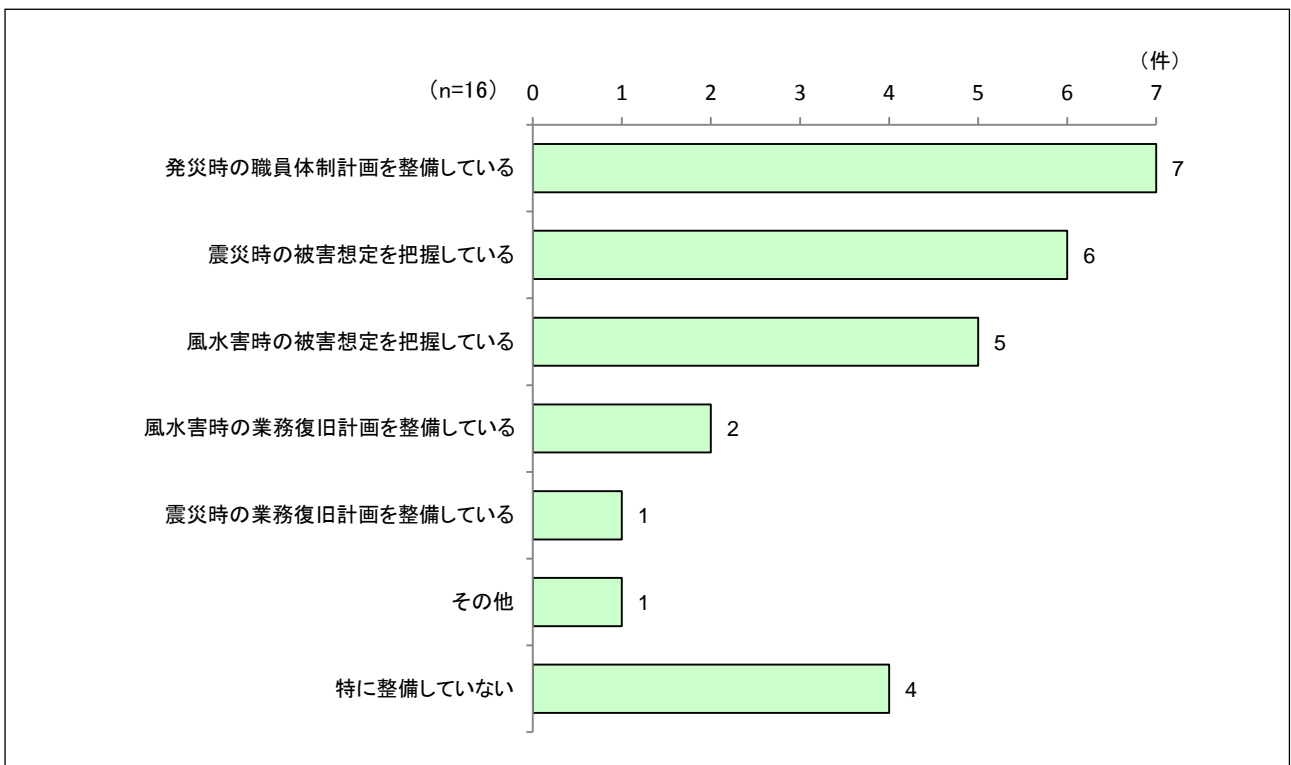
## 6.災害発生時の対応について

問8 災害発生時から業務復旧までの計画は整備されていますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

災害発生時から業務復旧までの計画が整備されているかについては、「発災時の職員体制計画を整備している」(7件)が最も多く、次いで「震災時の被害想定を把握している」(6件)、「風水害時の被害想定を把握している」(5件)と続いています。一方、「特に整備していない」は4件となっています。

図表 13 災害発生時から復旧までの計画の整備について (全体/複数回答)

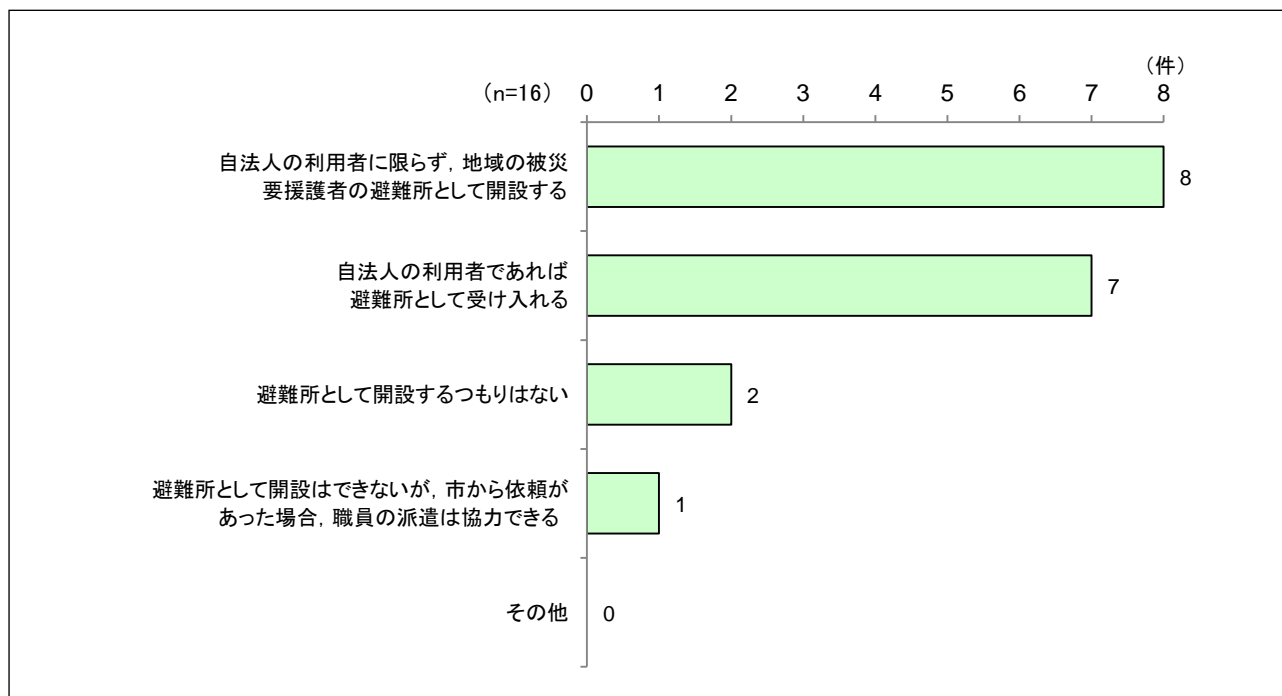


問9 災害時に仮に事業所（建物・職員等）が無事であった場合，災害時に避難所での特別な援助を必要とする障がい者等（以下「被災要援護者」という。）の避難所として開設することはできますか。（あてはまるものすべてに○）

### 【全体の傾向】

災害時に避難所として開設が可能かどうかについては、「自法人の利用者に限らず，地域の被災要援護者の避難所として開設する」（8件）が最も多く，次いで「自法人の利用者であれば避難所として受け入れる」（7件），「避難所として開設するつもりはない」（2件），「避難所として開設はできないが，市から依頼があった場合，職員の派遣は協力できる」（1件）と続いています。

図表 14 災害時の避難所として開設が可能か（全体／複数回答）



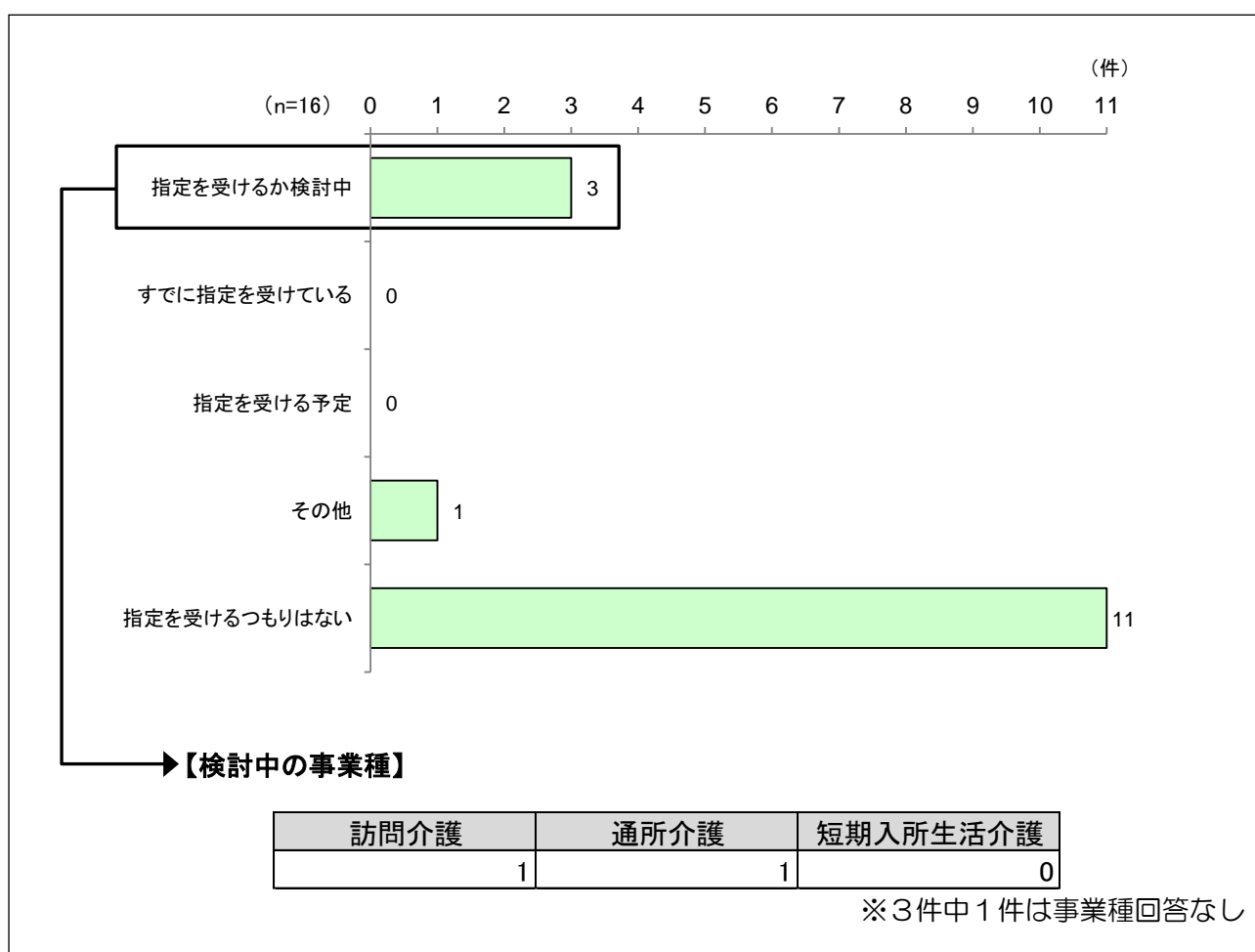
## 7.共生型サービスの指定について

問 10 貴法人では、今後共生型サービスの指定を受ける意向はありますか。指定を受ける予定もしくは検討中の方は、事業種に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

共生型サービスの指定を受ける意向があるかどうかについては、「指定を受けるか検討中」が3件となっています。一方、「指定を受けるつもりはない」は11件となっています。また、「指定を受けるか検討中」の法人が、検討している事業種は「訪問介護」が1件、「通所介護」が1件となっています。

図表 15 共生型サービスの指定を受ける意向があるか（全体／複数回答）



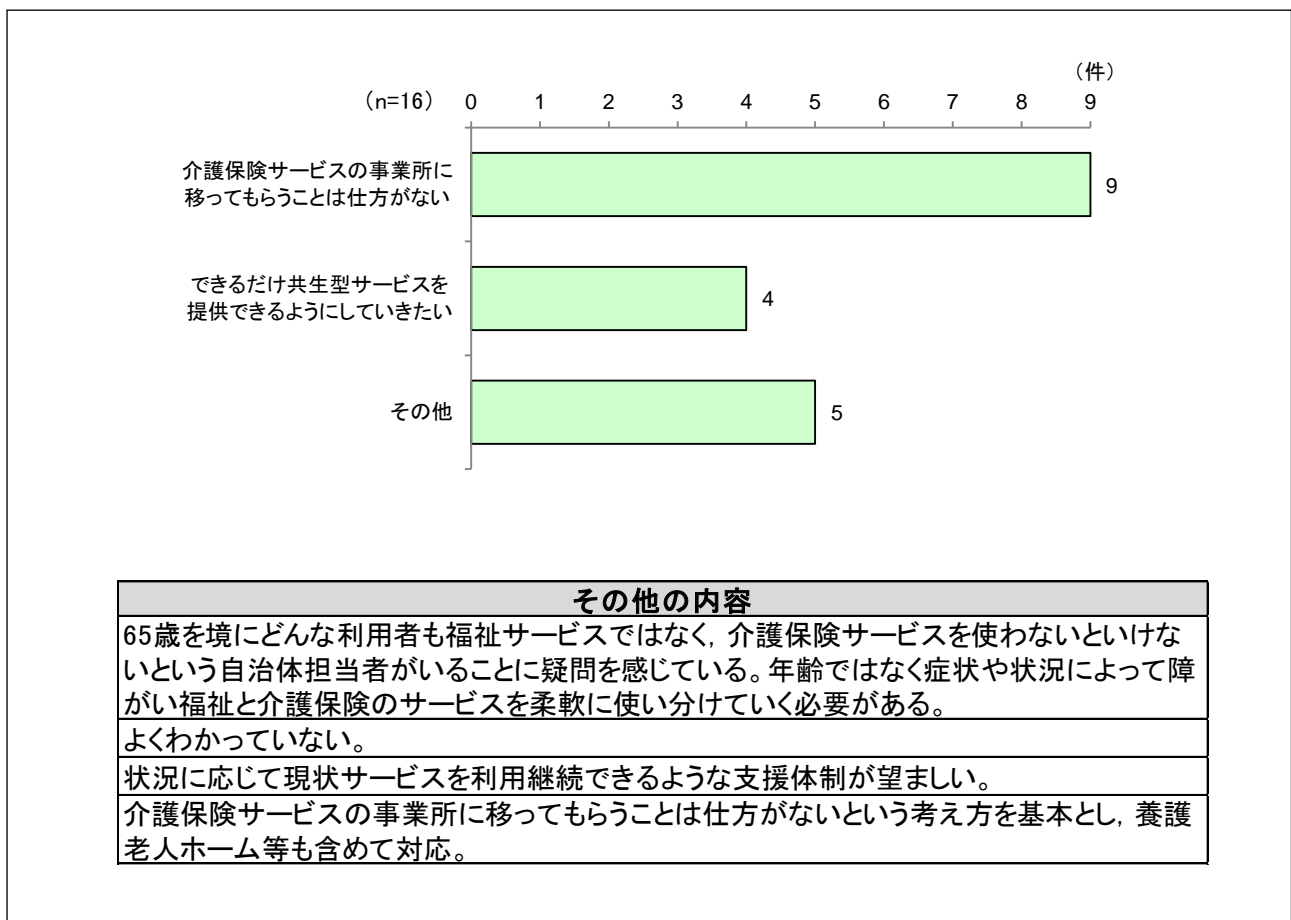
## 8.高齢者への支援について

問 11 65歳を迎える方への今後の支援の在り方についてどのように考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

65歳を迎える方への今後の支援の在り方についての考えとしては、「介護保険サービスの事業所に移ってもらうことは仕方がない」が9件、「できるだけ共生型サービスを提供できるようにしていきたい」が4件となっています。

図表 16 65歳を迎える方への支援の在り方について（全体／複数回答）



## 9.サービスの現状や課題

問 12 次の各サービスの分野における現状や問題点、課題、今後どのように取り組めばよいかについて、ご意見をご記入ください。

各種サービスの現状や問題点、課題、今後の取り組みについて以下のような意見が寄せられました。

### ①訪問系サービス

人材が集まらないことを改善しなければならない。1人で現場に行けるようになるまでは長い時間がかかるので、現場を十分に理解して、派遣できるヘルパーを育成する方法を確立したい。腰痛など体の負担を訴えるヘルパーが多くなった為、無理のないシフト体制を組んでいかなければと思う。

人材確保の困難や職員の高齢化に伴い、サービス内容が高度なケースの場合、受け入れが出来ない場合もあり、技術や対応能力を上げながら、質の均一に取り組むよう努力している。

精神障がい者に対して、サービスの提供が難しいという理由で利用を断られるケースがある。精神障がい者の特性について事業所の方々に理解していただく機会を増やす必要があるのでは。

通院等乗降介助の利用で、院内の付き添いを利用者の母親など高齢の方が行う場合(付き添いはできるが、乗降介助は困難)、車の運転ができない方は同乗せざるを得なく、支給量はあっても、結果自費利用になることがある。

### ②日中活動系サービス

サービス内容の質の向上←福祉サービス事業者のスキルアップ。

市内の仕事の提供が少ない(特に農業関係)。みかん、ブロッコリー、にんじん等収穫のお手伝いがないか。それを機に就職に結びつけることができればなお良い。

施設外就労と社会復帰に力を入れていく。香川県の月額平均工賃も上回っており、より多く利用していただけるように広報と実績を重ねていく。

ご利用者の年齢層が幅広く、活動のニーズの違いにより職員配置が厳しい。

就労移行や生活訓練の利用希望者はほとんどいない。2年という期間が足かせになっている。

人材の確保、利用者の確保、人材育成。

### ③施設・居住系サービス

土日、早朝・夜、泊まり職員の確保。

知的障がい者を主たる利用者とした事業所が少ない。

グループホームについては、施設や職員の確保が困難。入所支援については、ニーズはあるが受け入れ困難事例が多い。また、女性に比べ男性の希望者が多い。

人材の確保、利用者の確保、人材育成。



#### ④地域生活支援全般

日中一時支援事業の質の向上。

移動支援の利用希望日、時間が重なっているため、働くヘルパーが増えない限り受け入れは困難である。外出先での障がい者への理解は向上したと思うが、行動に問題がある障がい者に対して、自分の権利を犯されることに対する反応が厳しくなっていると思う。

ご家族による学校への送迎が困難な時に、移動支援を利用することができれば、学校に休まず通えるケースがある。移動支援の利用に関し、制限が緩和されることで障がい者やそのご家族の活動の幅が広がる。

日中一時支援については、多くの事業所に取り組んでいただきたい。

#### ⑤障がい児支援全般

学校下校時間が重なっており、送迎サービス調整が一事業所では難しい。

#### ⑥就労支援全般

一般就労していて、離職した方で、手帳を取得していなかったり、相談支援機関につながっていない場合のフォロー体制が未整備。

## 10.障がい福祉施策における重点課題について

問 13 坂出市が障がい福祉施策の展開を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題について、ご意見をご記入ください。

坂出市が障がい福祉施策を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題について以下のような意見が寄せられました。

福祉サービス事業所職員の待遇改善に対する支援(財政面)、相談支援専門員の育成。

他地域に比べて、いろいろと考慮してくれていると思います。大変助かっています。移動支援に関しては、待ち合わせなどを認めてもらえれば動きやすい部分も出てくると思います。

知的障がい者の親亡き後の生活の場を心配している人で、グループホームを将来的に利用できるような道筋をつけたいとの要望が多い。

居宅サービスの充実化を図り、家族の負担や将来の心配を軽減する。グループホームとショートステイの数値アップ。

障がい者の働く場の拡大及び拡充。坂出市管理の公園や墓地の除草、就労など支援事業所で受注可能なものがあれば障がい事業所へ発注いただきたい。また、その際に単一事業所での作業が困難なケースがあれば、市内の就労支援事業所を集めて共同受注ができるかなどの検討会を開催いただきたい。

## 11.その他・自由意見

問 14 坂出市の計画策定にあたり、その他、ご意見がありましたらご記入ください。

全体を見て、いいバランスで進むように調整をお願いします。

各年度もしくは計画期間における事業等の数値目標を明示する方が、事業所サイドも中期的事業展開を計画しやすいし、ご利用者家族も着眼され安心できるのでは。